

## 2025 年度団体交渉の報告

### Report on the 2025 Collective Bargaining

2025 年度、九州大学は人事院勧告を完全には実施しませんでした。本来であれば 2025 年 4 月に遡及して適用すべきところ、2026 年 1 月からの適用にとどまりました。たしかに、本学の財政状況が逼迫していることは理解します。また、二度にわたる団体交渉において一定の誠実な対応があったことも評価します。しかし、他の旧帝大が軒並み 4 月遡及を実現するなか、不完全実施という執行部の判断には賛同できません。なぜこのような事態に至ったのでしょうか。直接の要因は人件費や物価の上昇ですが、より根本的な問題は、歴代執行部が「ランキング」向上に固執し、無理な拡大を続けてきた点にあります。今求められているのは、この拡大路線を見直し、教職員一人ひとりが「九大で仕事をできて良かった」と実感できる経営へと舵を切ることです。そのような環境を整えることこそが、結果として九州大学の業績や評価を高めることにつながるはずで、次期執行部には、経営哲学の抜本的な転換を強く求めます。

In the 2025 academic year, Kyushu University did not fully implement the National Personnel Authority's recommendation: While the measure should have been applied retroactively from April 2025, the University limited its implementation to January 2026. We recognize the University's difficult financial circumstances, and we acknowledge that the Ishibashi administration showed a degree of good faith during the two rounds of collective bargaining. However, while all other Seven Universities implemented the recommendation retroactively from April, we cannot accept the decision not to implement it fully. Why has this situation arisen? Rising personnel costs and inflation are immediate factors, but the more fundamental cause lies in the obsession of the past several administrations on improving 'rankings' and pursuing expansion beyond sustainable limits. What is now required is a thorough reassessment of these expansionist policies and a shift toward management that enables every member of the University to genuinely feel, "I am glad to be working at Kyushu University." Creating such an environment will, in turn, enhance the University's performance and reputation. We strongly urge the next administration to undertake a fundamental change in its management philosophy.

※教職員組合に加入されたい方は、教職員組合書記局にメールをお送りください。

If you wish to join the union, send an e-mail to our office ([qunion@qunion.jp](mailto:qunion@qunion.jp)), please.

九州大学教職員組合 Kyushu University Trade Union

Web <http://qunion.jp/>

Mail [qunion@qunion.jp](mailto:qunion@qunion.jp)

TEL 092-802-2237

九州大学教職員組合

検索



## 2025年度団体交渉の申し入れ事項に対する回答

The following Japanese texts are available on the Union's website. If you are interested in reading them in English, please go to the following URL (<https://qunion.jp/uniQnews>) and translate them into English using a machine translation system.

1. 大学と教職員組合の意思疎通を強化するため、「団体交渉に関する労働協約」（平成19年9月1日）第3条を削除して、大学も組合もそれぞれの代表者に代えて交渉担当者を置くことができないようにすることを求めます。

当局：団体交渉には労働基準法等の専門的知識が不可欠なため、労務管理や総務担当が交渉担当者を務めることが適切であると考えられるゆえ、改正には同意しない。

2. 令和7年度の人事院勧告（以下、人勧）に関連して、人勧が定める給与・賃金水準を維持することを求めます。人勧に準拠していない非正規職員（テクニカルスタッフなど）についても、その他の教職員の給与・賃金水準に準じて引き上げることを求めます。

当局：大学の財務状況を考慮すると、物件費の確保を優先すべきと考えられるため、4月遡及はしない。非正規職員については、令和8年度以降も人勧を踏まえた改正を予定しており、テクニカルスタッフに関しては、給与は雇用責任者が決定することになっている。

3. 令和6年度以降、研究院の人事ポイントが92%に凍結されました。令和7年度は、多くの研究院等において、教員に配分される基盤的な研究費も激減しました。その結果、人材流出も起こり始めています。このことにつき、執行部に経営責任があるかどうか、執行部の見解をおきかせください。そのうえで、効果的ではない事業を削減し、研究大学にふさわしい基盤的な研究費を確保するとともに、人事ポイントの凍結を速やかに解除することを求めます。

当局：これまで人員削減を行わず物件費を取り崩して対応してきたが、それにも限界がきている。人事ポイントの凍結は現状の件費規模を維持するために継続する。戦略的経費についても、内容を精査し、各事業の費用をおよそ7割に圧縮して配分している。

4. パートタイム職員・有期契約職員の5年又は10年での雇止めをなくすため、九州大学基金に雇用安定化基金を設置することを検討するよう求めます。財政難によりパートタイム職員・有期契約職員を減員する必要が生じた場合、希望退職者を募り、雇用安定化基金から特別退職金を支給することを考えています。安定した雇用を実現すれば、事務だけでなく研究・教育の効率化にもつながります。また、九州大学の評判を上げることにもつながります。雇用安定化基金を設置するのであれば、教職員組合は協力します。

当局：有期契約職員は3,900名程度在籍しており、これらの職員の財源を基金で賄うのは非現実的であるため、雇用安定化基金には賛成しない。

5. 現在、事務職員のテレワークを試行中であると同っています。試行後に実施されるアンケート調査等の結果を速やかに提供していただくことを求めます。

当局：実施状況報告の結果は人事委員会で報告する。その後、報告結果は全学委員会のポータルから全職員が閲覧可能になる見込みである。令和8年4月1日からの本格導入に向けて検討中である。

6. 高齢者雇用安定法では、雇用主が70歳までの安定した雇用を確保するよう努めなければならないとされています。定年の引上げ等に関する教員の意向を把握するために、教員にアンケート調査を実施することを求めます。

当局：定年退職教員に現役教員の業務をアウトソーシングし、教員の研究時間を確保するために頭脳バンク制度を導入しており、アンケート調査は実施しない。

7. 本学教職員組合では、本学教職員の労働環境の改善を目指しておりますが、本学の全教職員への連絡手段が残念ながらありません。そのため、改善すべき点が把握できていないことも多々あると考えています。特に、外国人教員の労働環境の改善に向けては、教職員組合としても配慮が必要であると認識しております。半期に一度程度、本学が全学に向けてメールを送信する方法を使わせて頂き、教職員組合からのメール案内を配信する機会を求めます。

当局：全学向けメールの一斉送信は「重要かつ緊急な連絡」や「組織運営に関する重要事項の周知徹底」を目的としており、教職員組合には使用させない。

注：以上は教職員組合がまとめたものであり、石橋執行部が確認したものではありません。